

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 622 号	氏名	蔡 君柔
学位審査委員	主 査	由井 克之	
	副 査	平山 謙二	
	副 査	濱野真二郎	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、Interferon regulatory factor 4 (IRF4)と会合する分子を同定し IRF4 による免疫制御の仕組みを明らかにしようとしたもので、目的は明確である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 Yeast two-hybrid system を用いて IRF4 の新たな会合分子 BTBD2 バリエント v2 を同定した。免疫沈降法やレポーターアッセイを用いて IRF と BTBD2-v2 との細胞内での会合を証明し、刺激伝達経路への影響を解析した。さらに siRNA による BTBD2 ノックダウン実験も行っており、妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法により、IRF と会合する新規分子 BTBD2-v2 を同定した。この分子による IRF の機能制御についても一端を明らかにしており、今後 IRF を介する刺激伝達系の制御機構への研究の進展が期待される。</p> <p>以上のように本論文は IRF の分子生物学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			